

2024年7月

「抱負文」秋元 里奈（取締役候補者）

この度、アスクル社の独立社外取締役候補に指名されましたこと、大変光栄に存じます。これまでの経験を基に、就任に際しての抱負をお伝えさせていただきます。

私は、ファーストキャリアであるIT企業において、ゲーム事業、メディア事業、小売向け新規事業など様々なITサービスに携わり、技術とビジネスの両面で多くの経験を積みました。その後、同社で培ったITサービスの立ち上げ・運営の知見をもとに一次製品のeコマースを運営する会社を立ち上げました。同サービスは、リリースから3年で同カテゴリにおけるトップポジションとなり、現在100万人を超えるお客様を抱えるサービスへと成長しています。

また、一次産業領域は気候変動の影響を直接的に受けるため、環境問題への関心を強く持っております。そのため環境に配慮した商品の取り扱いや、生産者と消費者の直接的なつながりを通じた持続可能なビジネスモデルの構築などの取り組みはもちろんのこと、複数の企業や行政と連携し、サステナビリティ推進の取り組みを行ってきました。

独立社外役員としてのガバナンス機能に加え、上記の経験を活かし、特に「イノベーション創出」「ESG・サステナビリティの推進」の観点から、当社の企業価値向上に貢献したいと考えております。

オフィス通販からのトランスフォーメーションを掲げる当社において、一層の成長を実現するためには既存領域・新規領域ともにイノベーションの創出が必要不可欠です。ゼロの状態からビジネスを育ててきた起業家としての経験を活かし、デジタル技術を活用した新しいビジネスチャンスの創出を推進して参ります。

また、上記を推進する上ではイノベーション人材の育成・採用、そして適切な投資がなされるための制度や基盤整備も同時に重要です。一般的な新規事業創出の取り組みはもちろん、近年は非線形の成長を後押しするために外部資本を取り入れ新規事業のスピンアウトを歓迎したり、事業推進者に一定の株式を保有してもらう等、様々な形でイノベーション人材の活躍を最大化させるための取り組み事例があります。当社においては堅実な既存事業の基盤を持ちながらも、新規のチャレンジが歓迎される体制を整え、創造的な企業風土を醸成し、企業価値向上に繋がられるよう尽力いたします。

そして、当社はエシカルeコマースを標榜しており、SDGs領域も更なる強化が必要な分野と認識しています。環境への影響を最小限に抑えるため、サプライチェーン全体にわたる環境負荷の削減、持続可能な調達の推進、製品ライフサイクル全般における廃棄物削減やリサイクルの強化、カーボンクレジットなどの仕組みを活用するなど、日本および世界各地での事例を収集しながら、具体的な施策を提案して参ります。2030年までの持続可能な開発目標達成に向け、業界のデファクトスタンダードとなるべく邁進いたします。

その他、社会的課題に対する取り組みとして、地域社会との協力や多様性とインクルージョンの推進、従業員の働きがいや健康の向上に向けた取り組みを推進していきます。

最後になりますが、この度の就任に際し、皆様のご期待に応えるべく全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

以上